

フランス

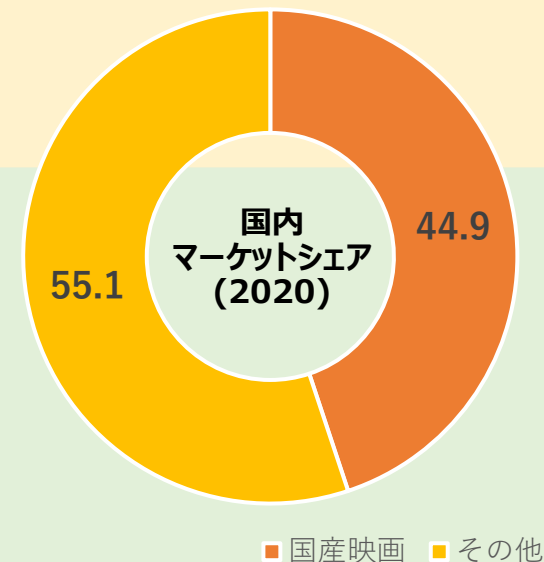


映画産業

- ・国内興行収入は欧州1位（全世界第4位）の規模を誇る
- ・国際共同製作協定数は58カ国で世界最多
- ・映画製作本数に占める国際共同製作の割合が4割程度を占める
仏語圏との共同制作が中心

国内市場

- ・国内映画の占める割合は3割強(2020年は約45%)
- ・興行収入の上位はハリウッド映画が占める
- ・国内作品で上位にランキングするのは実写コメディ作品
- ・国産アニメの需要は低く、主にディズニーを中心としたハリウッド映画がメイン



市場データ (2020年)

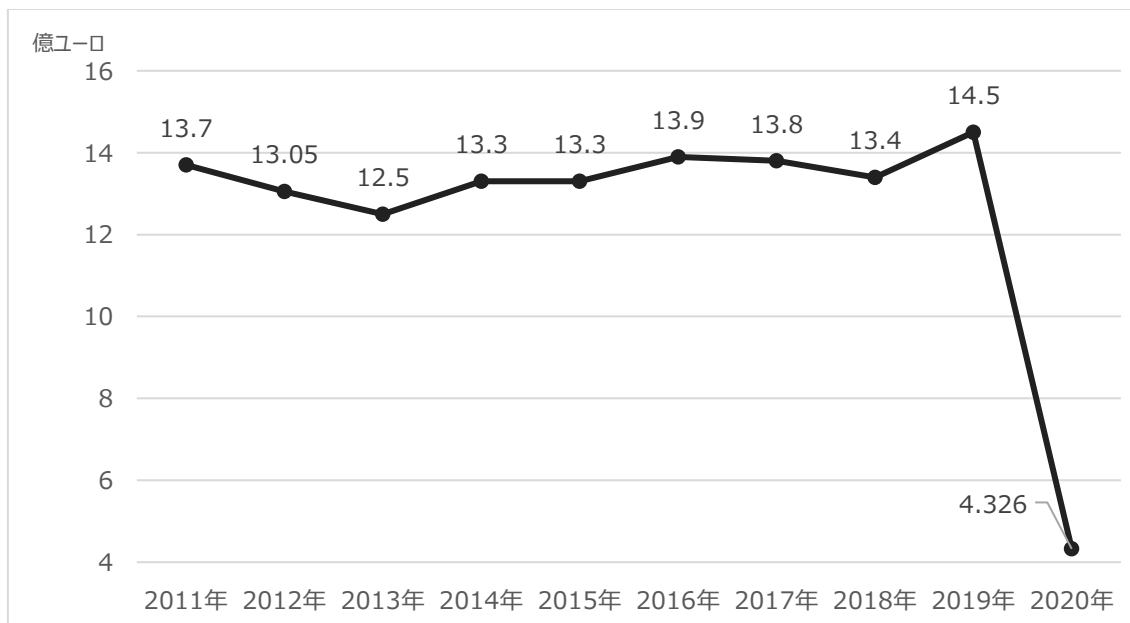
- ・国内興行収入: 4.33億ユーロ (2019年: 14.5億ユーロ)
 - ・国内の劇場動員数: 0.651億人 (2019年: 2.13億人)
 - ・国内のスクリーン数: 6127 (2019年: 6114)
 - ・平均チケット価格: 6.6ユーロ (2019年: 6.8ユーロ)
 - ・一人あたりの年間平均入場回数: 1.2回 (2019年: 3.2回)
 - ・マーケットシェアにおける国産映画の割合: 44.9% (2019年: 34.8%)
 - ・映画製作本数: 239本 (2019年: 301本)
- *100%国産 = 151本、国際共同製作 = 88本

フランスの国内市場規模

1. 興行収入 (2011-2020) ¹

* コロナ感染拡大の影響で 2020 年は大きく落ち込んだものの、変わらず欧州 1 位の規模である。

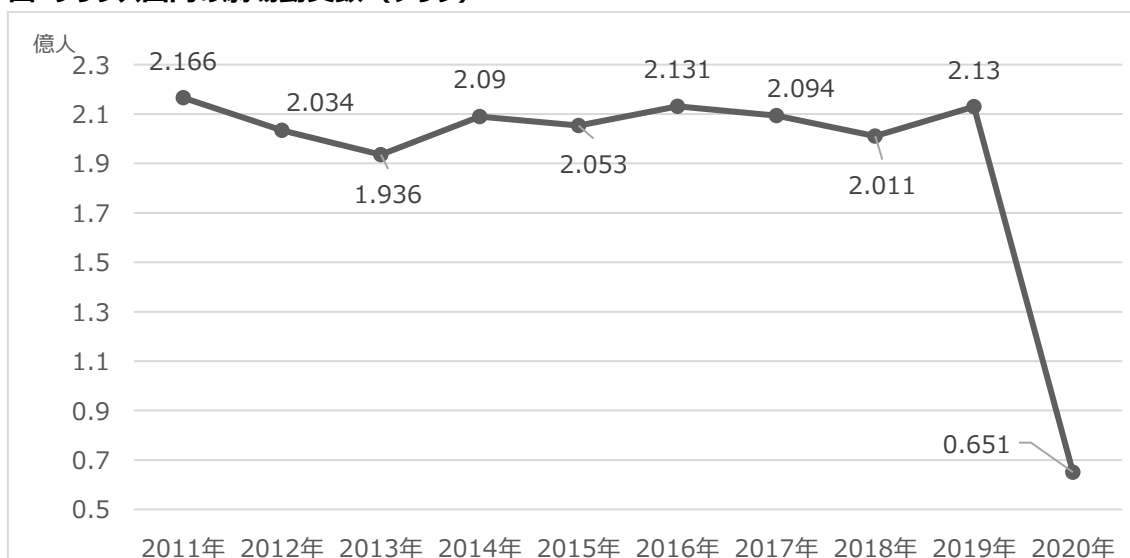
図 フランス国内の劇場興行収入 (グラフ)



2. 動員数 (2011-2020) ²

* 概ね 2.1 億人前後を推移し、2020 年は 3 割程度に大きく減少したが欧州 1 位である。

図 フランス国内の劇場動員数 (グラフ)



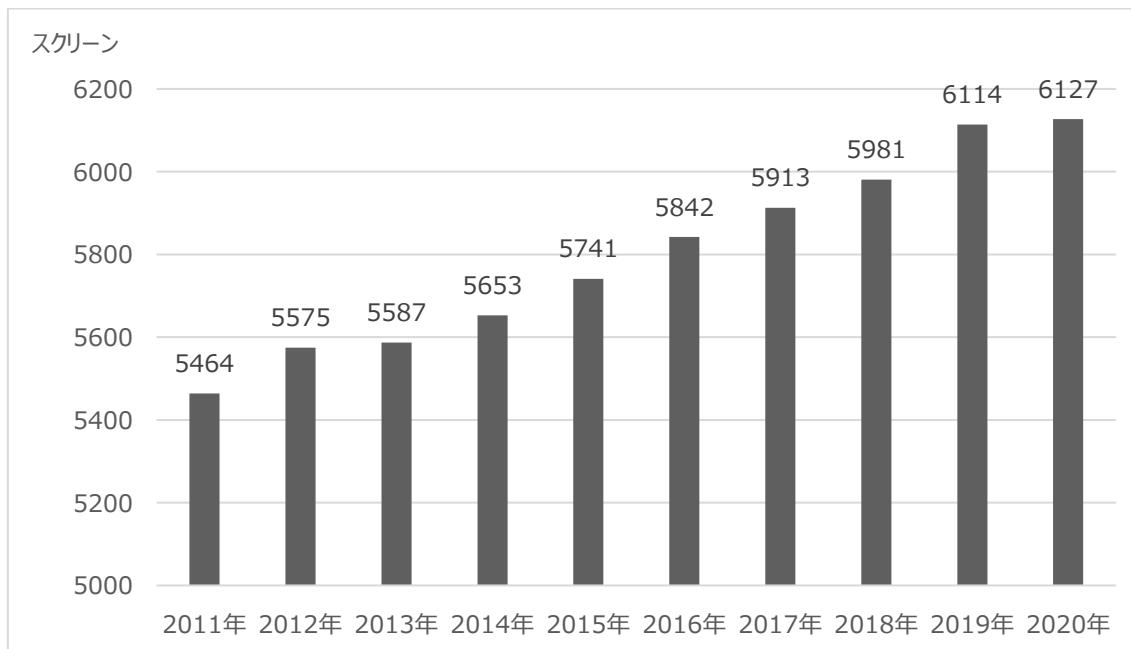
¹ European Audiovisual Observatory 発行 「FOCUS」2011 年版～2020 年版を元に作成

² 同上

3. スクリーン数（2011-2020）³

* スクリーン数は順調に増加しており、2019年には6000スクリーンを超え欧州1位の数である。

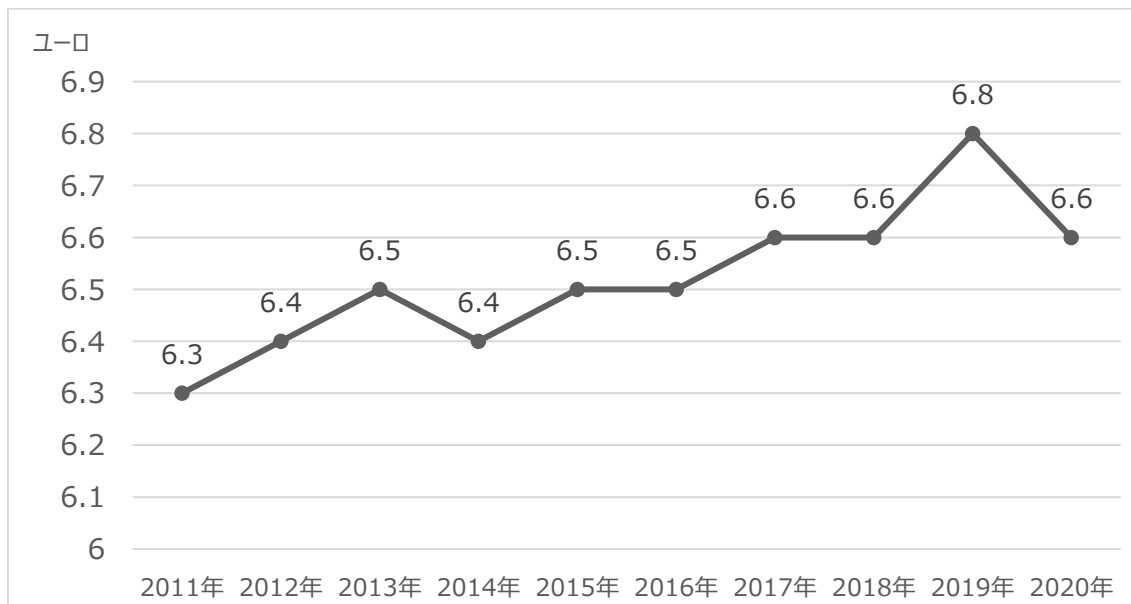
図 フランス国内のスクリーン数（グラフ）



4. 平均チケット価格（ユーロ）（2011-2020）⁴

* 平均チケット価格は年々上昇傾向。2020年は微減で6.8ユーロであった。

図 フランス国内の平均チケット価格（ユーロ）



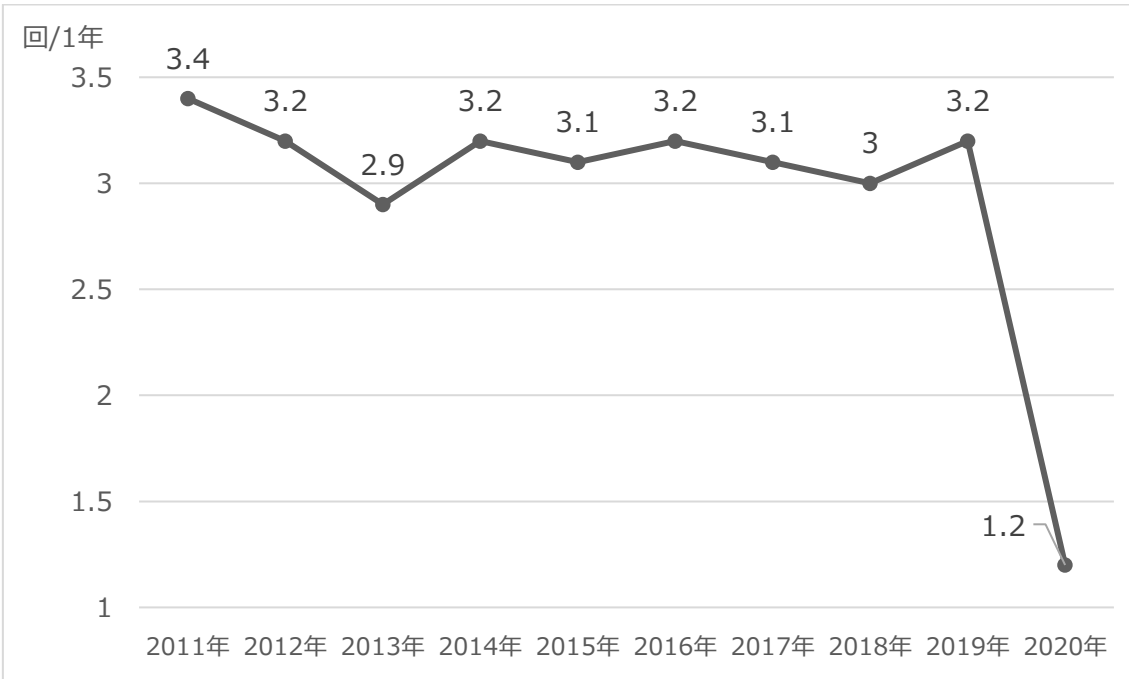
³ European Audiovisual Observatory 発行 「FOCUS」2011年版～2020年版を元に作成

⁴ 同上

5. 一人あたりの年間平均入場回数（2011-2020）⁵

* 常に3回以上を推移し、欧州でトップの水準。2020年は1.2回にまで落ち込んだ。

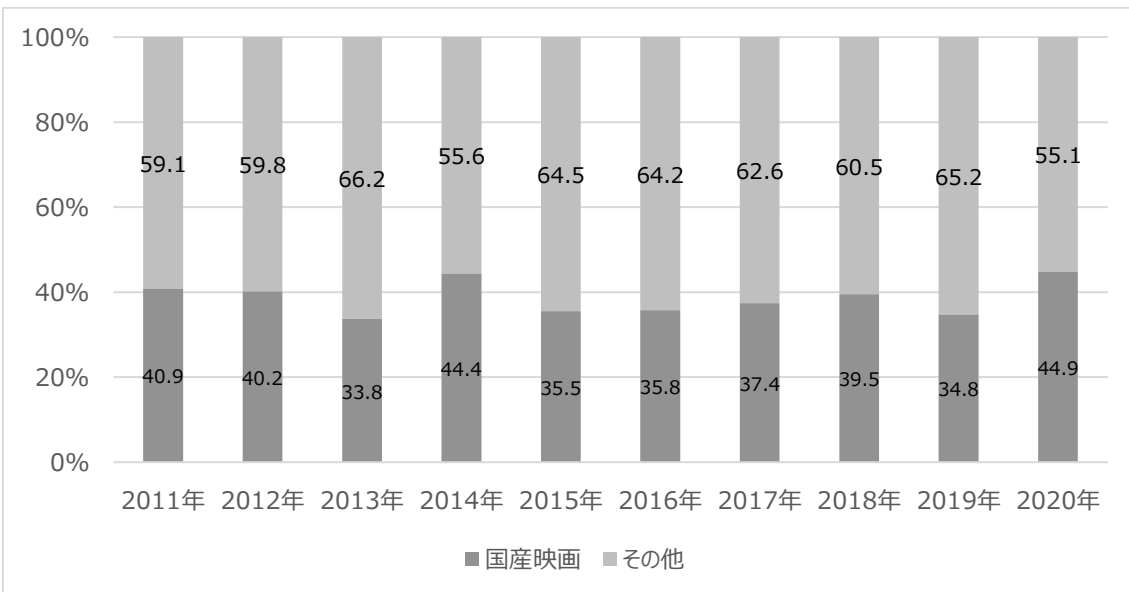
図 フランス国内の一人あたりの年間平均入場回数



6. マーケットシェアにおける国産映画の割合（2011-2020）⁶

* 国産映画がマーケットの4割前後を占め、2020年は割合が高まった。

図 フランス国内のマーケットシェアにおける国産映画の割合



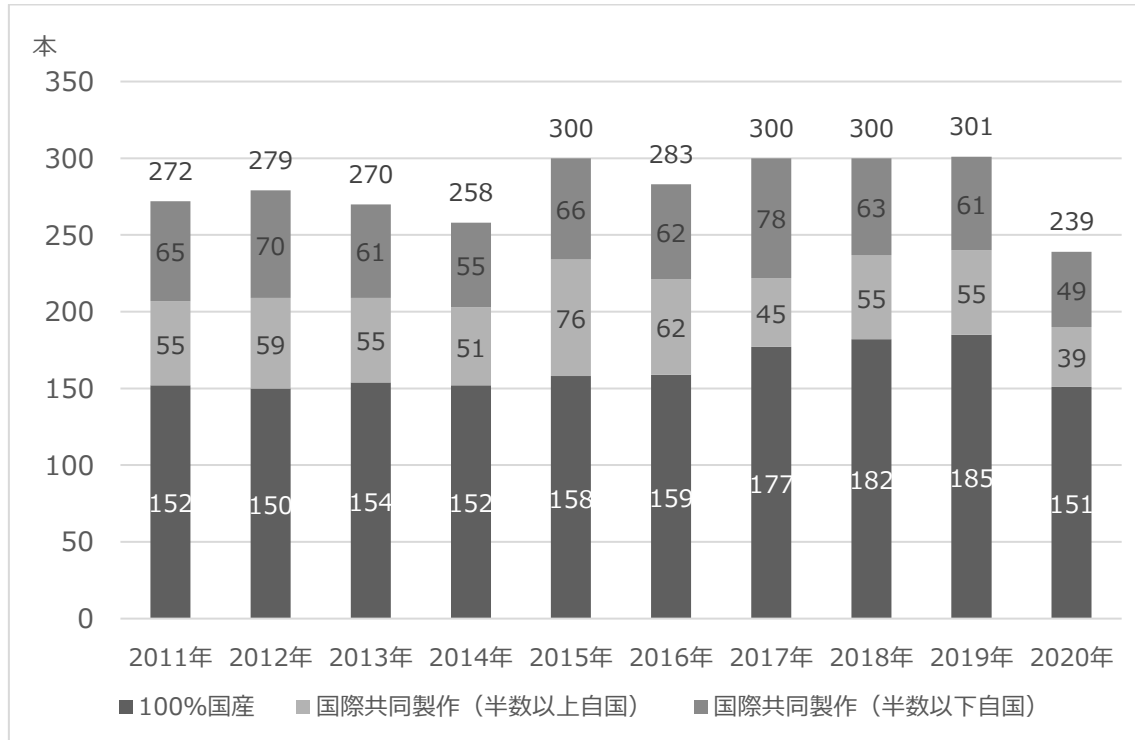
⁵ European Audiovisual Observatory 発行 「FOCUS」2011年版～2020年版を元に作成

⁶ 同上

7. 映画製作本数（2011-2020）⁷

* 2020年以前までは製作本数は緩やかに増加してきた。国際共同製作の割合も4割弱と高い。

図 フランス国内の映画製作本数(グラフ)



⁷ European Audiovisual Observatory 発行 「FOCUS」2011年版～2020年版を元に作成